

平成26年度9月補正予算の概要

平成26年9月萩市議会定例会

平成26年9月

萩市総務部財政課

■ 今回補正する会計及び各会計の補正予算額

補正予算を計上する会計は、一般会計（全 18 事業 うち新規 7 事業）、国民健康保険事業（事業勘定）特別会計（全 4 事業）、後期高齢者医療事業特別会計（全 1 事業）、介護保険事業特別会計（全 2 事業）の 4 会計です。

補正予算を計上する会計	補正号数 (回数)	今回の補正予算額
一般会計	第 2 号	1 億 5,168 万 3 千円
国民健康保険事業（事業勘定）特別会計	第 1 号	1 億 9,499 万 6 千円
後期高齢者医療事業特別会計	第 1 号	1,305 万 3 千円
介護保険事業特別会計	第 1 号	9,054 万 9 千円
今回の補正予算額 計		4 億 5,028 万 1 千円

今回の補正は、4会計で全25事業（うち新規7事業）

■ 一般会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、市内の篤志家から多額の寄附を受けたことから基金に積み立てる事業、寄附を受けた幕末歴史コレクションを活用し展示公開に向けて取り組む事業、日本ジオパーク認定に向けて取り組む事業、社会保障・税番号制度の運用開始に向けて取り組む事業、政令改正に伴い新たに予防接種を行う事業、萩・石見空港の利用を促進する事業、福栄地域の小学校を統合する事業、さらに、前年度事業費の確定に伴い補助金等の精算を行う事業等、市勢の発展及び市民の生活を守るために必要な事業を計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
367 億 1,843 万 6 千円	1 億 5,168 万 3 千円	368 億 7,011 万 9 千円

※今回の補正は、全18事業（うち新規7事業）

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
地方交付税	6,231万1千円	普通交付税
国庫支出金	2,094万4千円	国庫補助金
寄附金	2,600万円	
諸収入	682万8千円	雑入
市債	3,560万円	
合計	1億5,168万3千円	

4. 歳出予算の主な事業内容

◆ふるさと寄附推進事業（2,600万円）

【予算説明書 8 ページ 企画費】
（担当課：企画政策課）

市内の篤志家から萩市のまちづくりのための寄附があったことから、「あなたのふるさと萩応援基金」に積立てを行います。

〔財源内訳〕 総務費寄附金 2,600万円

◆旧萩藩校明倫館活用推進事業（2,800万円）

【予算説明書 8 ページ 旧萩藩校明倫館活用推進費】
（担当課：企画政策課）

下関市在住の方が所有する幕末歴史コレクションの寄附の受入れが決まったことから、このコレクションを活用し旧明倫小学校校舎での展示公開に向けて、展示スペースの基本設計やコレクションの調査費用など、必要な経費を補正します。

〔財源内訳〕 一般財源 2,800万円

◆ジオパーク推進事業（265万1千円）

【予算説明書8ページ ジオパーク推進費】
（担当課：企画政策課）

平成28年度の日本ジオパーク認定を目指し、市民とともにジオパーク構想を推進するため、必要な経費を補正します。

事業内容：○地学部門嘱託職員報酬（※歳出費目の振替え）
○ジオパーク推進に係る視察及び事務経費
○日本ジオパークネットワーク加盟負担金（準会員）
○日本ジオパーク全国大会参加経費

[財源内訳] 一般財源 265万1千円

◆補助金返還事業（8万1千円）

【予算説明書9ページ 老人福祉総務費】
（担当課：介護保険課）

平成25年度の社会福祉法人等利用者負担軽減事業費及び離島等地域利用者負担軽減事業費の確定に伴い、山口県からの超過交付分を返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：山口県に8万1千円を返還します。

[財源内訳] 一般財源 8万1千円

◆後期高齢者医療療養給付費負担金事業（419万8千円）

【予算説明書9ページ 後期高齢者医療推進費】
（担当課：市民課）

平成25年度の後期高齢者医療療養給付費の確定に伴い、必要な経費を補正します。

事業内容：山口県後期高齢者医療広域連合に市負担分（1/12）を支払います。

[財源内訳] 一般財源 419万8千円

◆生活保護電算システム改修事業（178万2千円）

【予算説明書 10 ページ 生活保護総務費】
（担当課：高齢・障がい支援課）

社会保障・税番号制度の導入に伴い、必要となる生活保護電算システムの改修に係る経費を補正します。

[財源内訳] 民生費国庫補助金 118万8千円
一般財源 59万4千円

◆＜新規＞予防接種事業（水痘）（1,493万9千円）

【予算説明書 10 ページ 予防費】
（担当課：健康増進課）

予防接種法施行令の改正に伴い、水痘が定期の予防接種の対象疾病となったことから、必要な経費を補正します。

対 象：生後 12 月から生後 36 月に至るまでの間にある者

※ただし、平成 26 年度に限り生後 12 月から生後 60 月に至るまでの間にある者

施 行 期 日：平成 26 年 10 月 1 日

[財源内訳] 一般財源 1,493万9千円

◆<新規>高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種事業（2,308万4千円）

【予算説明書 10 ページ 予防費】
（担当課：健康増進課）

予防接種法施行令の改正に伴い、高齢者肺炎球菌感染症が定期の予防接種の対象疾病となったことから、必要な経費を補正します。

対 象：○65歳の者
○60歳以上65歳未満であって、心臓、腎臓若しくは呼吸器機能の障
がい又はヒト免疫不全ウイルスによる免疫の機能の障がいを有する者
として厚生労働省で定める者

※平成26～30年度までの間は下記の者が対象

- ・各当該年度に65歳、70歳、75歳、80歳、85歳、90歳、95歳、
100歳となる日の属する年度の初日から当該年度の末日までの間にあ
る者

※平成26年度中については、平成25年度末で100歳以上の者も対象

施行期日：平成26年10月1日

個人負担額：1回 2,700円

[財源内訳] 雑入（個人負担金） 682万8千円
一般財源 1,625万6千円

◆萩諸島産業振興事業（1,022万4千円）

【予算説明書 11 ページ 商工業振興費】
（担当課：商工振興・企業誘致推進課）

離島（見島・大島・相島）の特性をいかした産業の振興を図るため、国の離島活性化交付金を活用して、戦略産品を本土へ移出する団体に対し、移出に係る輸送費の一部を支援します。

実施主体：あぶらんど萩農業協同組合、山口県漁業協同組合

負担割合：萩市 1/3 国 1/3 実施主体 1/3

対象戦略産品：米、野菜類、いも類、魚介類
※今年度から米が対象品目に追加

[財源内訳] 商工費国庫補助金 511万2千円
一般財源 511万2千円

◆萩・石見空港利用拡大促進協議会負担金事業（355万2千円）

【予算説明書11ページ 観光振興費】
（担当課：観光課）

平成26年度の東京便利用者の目標数12万人に対して、これまでの利用実績による推計では目標に達しない見込みであることから、目標の達成に向けて利用促進対策を充実させる事業を展開していくため、実施主体である萩・石見空港利用拡大促進協議会に対する負担金について追加補正を行います。

実施主体：萩・石見空港利用拡大促進協議会

萩市負担金額：355万2千円

目標達成に向けた対策：

- 航空会社が打ち出した割引運賃及び協議会が行う助成事業の周知徹底
- キャンペーンの実施
- 個人助成事業の充実
- 地元からの旅行商品の充実
- 団体旅行客の確保

〔財源内訳〕 市債 350万円
一般財源 5万2千円

◆＜新規＞はぎ温泉揚配湯施設管理事業（92万8千円）

【予算説明書11ページ 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

はぎ温泉揚配湯施設の指定管理者である「はぎ温泉配湯協同組合」は、加盟組合員からの利用料金等により、施設の運営及び維持管理を行っています。7月末で組合員であった市内のホテルが設備老朽化等の理由により休業したため、利用料金等の収入が減少し施設の運営管理に支障が出ることから指定管理料を調整します。

〔財源内訳〕 一般財源 92万8千円

◆<新規>萩阿武川温泉設備調査事業（172万8千円）

【予算説明書 11 ページ 観光振興施設費】
（担当課：観光課）

川上地域の観光拠点施設である萩阿武川温泉において、湧出量が年々減少し、創業時の2割程度となっていることから、湧出量の改善を図るため、揚湯管内部等の調査を実施します。

〔財源内訳〕 一般財源 172万8千円

◆<新規>福栄地域小学校整備事業（3,380万2千円）

【予算説明書12ページ 小学校建設費】
（担当課：教育委員会総務課）

福栄地域の紫福小学校と福川小学校を統合し、福栄中学校との併設による新校舎等を整備するための実施設計等を行います。

なお、統合時期は平成28年4月の予定です。

事業内容：○実施設計業務
○設備設計業務
○地質調査業務

〔財源内訳〕 市債 3,210万円
一般財源 170万2千円

◆<新規>花江茶亭屋根修理事業（650万7千円）

【予算説明書12ページ 文化財保護費】
（担当課：文化財保護課）

指月公園内にある市指定文化財「花江茶亭」の茅葺及び杉皮葺屋根が著しく腐朽・破損していることから、早期に保存修理を行うため、必要な経費を補正します。

なお、平成27年度事業費については債務負担行為の設定を行います。

事業内容：茅葺及び杉皮葺屋根の葺替え

事業費：○平成26年度 650万7千円
○平成27年度 382万5千円（債務負担行為の設定）

〔財源内訳〕 一般財源 650万7千円

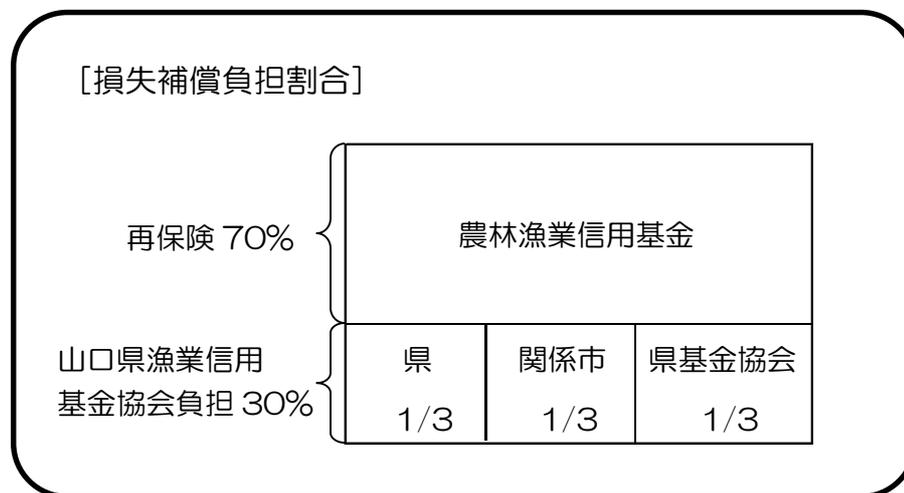
◆＜新規＞漁業経営緊急対策資金事業【債務負担行為の設定】

(担当課：水産課)

近年の燃油価格の高止まりや漁業生産額の減少などが漁業経営を大きく圧迫していることから、低利の緊急対策資金（短期運転資金）を創設するとともに、資金融通の円滑化を図るため、資金の債務保証を行う山口県漁業信用基金協会に対する損失補償について、債務負担行為の設定を行います。

【債務負担行為の限度額】

山口県漁業信用基金協会が平成26年度に3億円の範囲内で債務保証を行う漁業経営緊急対策資金により受ける損失の1/3に相当する額



■ 国民健康保険事業（事業勘定）特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、後期高齢者支援金及び前期高齢者納付金の負担額が確定したことに伴う支払経費、前年度の剰余金を基金に積み立てる経費、前年度の療養給付費等負担金などの確定に伴う返還金を予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
72 億 9,560 万円	1 億 9,499 万 6 千円	74 億 9,059 万 6 千円

※今回の補正は、全4事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	10 万 7 千円	
県支出金	2 万 3 千円	
繰入金	10 万 6 千円	一般会計繰入金
繰越金	1 億 9,476 万円	前年度繰越金
合計	1 億 9,499 万 6 千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆後期高齢者支援金事業（26 万 4 千円）

【予算説明書 22 ページ 後期高齢者支援金】
（担当課：市民課）

後期高齢者の医療費に係る保険者負担金について、負担金額が確定したことから、必要な経費を補正します。

[財源内訳] 療養給付費等負担金 8 万 4 千円
財政調整交付金（国） 2 万 3 千円
財政調整交付金（県） 2 万 3 千円
一般財源 13 万 4 千円

◆前期高齢者納付金事業（4万8千円）

【予算説明書 22 ページ 前期高齢者納付金】
（担当課：市民課）

前期高齢者の医療費に係る保険者負担金について、負担金額が確定したことから、必要な経費を補正します。

〔財源内訳〕 一般財源 4万8千円

◆国民健康保険基金管理事業（1億7,266万5千円）

【予算説明書 23 ページ 国民健康保険基金積立金】
（担当課：市民課）

国保財政の基盤安定・強化を図るため、平成 25 年度に生じた剰余金を国民健康保険基金に積み立てるため、必要な経費を補正します。

〔財源内訳〕 一般財源 1億7,266万5千円

◆補助金返還事業（2,201万9千円）

【予算説明書 23 ページ 償還金】
（担当課：市民課）

平成 25 年度の療養給付費等負担金、高齢者医療制度円滑運営事業費補助金及び退職者医療療養給付費等交付金の精算に伴い、各関係機関からの超過交付分をそれぞれ返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：○国に 818 万 9,896 円返還します。
○山口県に 10 万 6,000 円返還します。
○社会保険診療報酬支払基金に 1,372 万 3,255 円返還します。

返還金合計：2,201 万 9,151 円
※返還金補正後予算額 2,202 万円

〔財源内訳〕 一般財源 2,201 万 9 千円

■ 後期高齢者医療事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、平成 25 年度の保険料の負担金額が確定したことから、山口県後期高齢者医療広域連合に支払うために必要な負担金額について、補正を行うものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
8 億 6,670 万円	1,305 万 3 千円	8 億 7,975 万 3 千円

※今回の補正は、全 1 事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
繰越金	1,305 万 3 千円	前年度繰越金

4. 歳出予算の事業内容

◆後期高齢者医療広域連合納付金事業（1,305 万 3 千円）

【予算説明書 30 ページ 後期高齢者医療広域連合納付金】
(担当課：市民課)

平成 25 年度の保険料について、後期高齢者医療に要する費用に充てるため、保険料負担金を広域連合に納付します。

支払先：山口県後期高齢者医療広域連合

[財源内訳] 一般財源 1,305 万 3 千円

■ 介護保険事業特別会計

1. 補正予算の概要

今回の補正は、平成 25 年度の介護給付費及び地域支援事業の精算に伴う、国・県支出金、社会保険診療報酬支払基金交付金及び一般会計に係る超過交付分の返還金並びに平成 25 年度に生じた剰余金の介護給付費準備基金への積立てを予算計上するものです。

2. 補正予算額

補正前の予算額	補正予算額	補正後の予算額
66 億 6,690 万円	9,054 万 9 千円	67 億 5,744 万 9 千円

※今回の補正は、全 2 事業

3. 補正予算額の財源手当

歳入項目	補正予算額	備考
国庫支出金	41 万 7 千円	
県支出金	20 万 8 千円	
繰入金	△409 万 9 千円	一般会計繰入金
繰越金	9,402 万 3 千円	前年度繰越金
合計	9,054 万 9 千円	

4. 歳出予算の事業内容

◆介護給付費準備基金管理事業（6,028 万円）

【予算説明書 37 ページ 介護給付費準備基金積立金】
（担当課：介護保険課）

平成 25 年度に生じた剰余金を介護給付費準備基金に積み立てるため、必要な経費を補正します。

〔財源内訳〕 一般財源 6,028 万円

◆補助金返還事業（3,026万9千円）

【予算説明書 37 ページ 償還金】
（担当課：介護保険課）

平成 25 年度の介護給付費及び地域支援事業の精算に伴い、各関係機関からの超過交付分をそれぞれ返還するため、必要な経費を補正します。

事業内容：○国に 832 万 1,274 円返還します。
○山口県に 625 万 2,091 円返還します。
○社会保険診療報酬支払基金に 1,569 万 5,725 円返還します。

返還金合計：3,026 万 9,090 円
※返還金補正後予算額 3,027 万円

[財源内訳] 一般財源 3,026 万 9 千円